

2008年3月14日
イオン株式会社

国内小売業で初めてCO₂（二酸化炭素）総量削減目標を策定
——「イオン温暖化防止宣言」——
2012年度にCO₂を30%削減
全国約1,000店舗でレジ袋の無料配布中止

イオンでは、持続可能な社会を実現するために地球温暖化をもたらす主たる原因であるCO₂（二酸化炭素）の排出削減目標について、国内小売業で初めて、具体的数値を定めた「イオン温暖化防止宣言」を策定いたしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

地球温暖化防止問題は、安心して暮らせる生活環境を次世代の子どもたちへ引き継いでいくための国民的な課題です。企業、行政、そして市民の皆さまがCO₂削減にむけて、それぞれがどのような具体的な行動をとっていくのかが問われている喫緊の課題でもあります。

イオンはこれまでも、次世代の子供たちによりよい地球環境を引き継ぐことを目指し、本業を通じてCO₂削減に取り組んでまいりました。

お客さまとともにを行う省資源活動の一環として、マイバッグなどを利用した買物袋持参運動や店頭リサイクル回収、また、お客さまとともにを行う環境保全活動として、1991年から累計約800万本の国内外での植樹活動等を実施しております。さらに、環境に配慮した技術やしぐみを体系的に取り入れたイオンの“エコストア”の展開や商品の容器包装にバイオマスプラスチック包装素材を導入する等、店舗開発、商品開発面でも新しいビジネスプロセス改革に積極的に取り組んでいます。

このたび策定した「イオン温暖化防止宣言」では、イオンは企業成長と環境保全の両立を図りながら2012年度にCO₂排出総量を2006年度比で30%削減という数値目標を掲げております。

この目標を達成するために、“店舗”、“商品”、“お客さま”の観点からCO₂削減について本業を通じて様々な施策をより一層推進してまいります。

記

「イオン温暖化防止宣言」

1. CO₂排出削減目標

- ・イオンは、2012年度にCO₂排出総量を、2006年度比で30%削減します。
(約185万t-CO₂の削減)

2. 主なCO₂排出削減施策

(1) 店舗における取組みについて (約50万t-CO₂削減)

- ①2008年度に店舗から排出されるCO₂を30%削減できる“エコストア”を開発します。これは既存の“エコストア”をさらに進化させたモデルとなります。
- ②2009年度以降のショッピングセンター（SC）は、すべて“エコストア”で出店します。

- ③ “エコストア” で得られた省エネ機器やノウハウを既存店にも導入します。
- ④ 2012年度までに既存店を含め太陽光発電を200店舗に導入します。
- ⑤ イオンの環境負荷低減の技術をSCのテナントさまに提供し、テナントさまのCO₂を削減します。

(2) 商品における取組みについて (約57万t-CO₂削減)

- ① 商品包装資材の素材について化石燃料由来からバイオマスプラスチックへの変更をさらに推進します。
- ② 商品包装資材の厚さを薄くし軽量化をさらに推進します。
- ③ 商品輸送手段の変更など商品物流に関してのCO₂を削減します。
- ④ イオンの環境負荷低減の技術をサプライヤーさまに提供し、サプライヤーさまのCO₂を削減します。

(3) お客さまとともに (約31万t-CO₂削減)

- ① 1991年より国内外で実施している「イオン ふるさとの森づくり」や(財)イオン環境財団による植樹活動を2012年には累計本数1,100万本を目指します。
(2008年3月10日現在 累計約800万本)
- ② 2012年度までに食品レジ袋から排出されるCO₂をゼロにします。
 - イ) 全国のレジ袋平均辞退率目標80%を達成するために、レジ袋無料配布中止(※1)の店舗を全国約1,000店舗で実施します。
 - ロ) 使用されるレジ袋の素材を化石燃料由来からバイオマスプラスチックに切り替えます。

(4) 京都メカニズムの活用 (※2) (約47万t-CO₂削減)

イオンでは2003年にオーストラリア アデレードで植林事業を行う Adelaide Blue Gum Pty Ltd. (ABL) の設立に共同出資しております。今後、計画的な植林、育成、伐採の循環プログラムに参加しCO₂排出権を確保する予定です。

(※1) レジ袋無料配布中止によるレジ袋収益金については、50%を地域の環境保全活動へ寄付し、50%はCO₂排出権を購入し、政府(環境省)へ無償譲渡します。

(※2) 海外で環境投資を行い、その投資によるCO₂排出削減量を削減実績に組み込むことができる「京都議定書」で認められた社会的なシステムです。

以上

ご 参 考

イオンのこれまでの環境負荷低減への取組み例

【店舗設備等での取組み】

- ・ 環境に配慮した技術やしくみを体系的に取り入れたイオンの“エコストア”を積極的に開発しております。現在、イオン千種ショッピングセンター（SC）（愛知県名古屋市）、イオン柏SC（千葉県柏市）、イオン大日SC（大阪府守口市）、イオン鹿児島SC（鹿児島県鹿児島市）の4店舗を展開しております。
- ・ 商品の包装容器削減の取組みとして「リターナブルコンテナ」を導入し、ダンボール使用量を削減しました。5年間累計で6,879万ケースの利用があり、ダンボール88,058t分に相当します。また、ハンガー車納品により5年間で5,611t分のダンボールを削減しております。
- ・ 2006年度より関東から北海道への物流において、実験的にトラック輸送から鉄道に切り替えCO₂排出を抑える「モーダルシフト」を始めております。

【商品での取組み】

- ・ イオンのプライベート商品「トップバリュ 共環宣言」など環境に配慮した商品を積極的に展開しております。
- ・ 商品の包装資材を石油由来のものから、植物を原料としたバイオマスプラスチック包装材への切り替えを進めております。
- ・ 環境配慮とおしゃれを両立させたエコロジーショップ「SELF+SERVICE」では、リサイクル衣料の販売や不要になった衣料のリサイクル回収を行っております。

【お客さまとともに行う活動】

- ・ 1991年より買物袋持参運動を開始しており、2006年度では1億7,500万枚のレジ袋を削減しました。また、2000年に販売開始した買物カゴのまま持ち帰ることができる「マイバスケット」は累計で100万個に達しております。
- ・ 2007年1月より京都市のジャスコ東山二条店よりスタートしたレジ袋提供方法見直し（無料配布中止）は、2008年2月20日時点で、イオングループ合計42店舗で実施しております。
- ・ ペットボトル等の店頭リサイクル回収も1989年開始以来、累計で47,300tの回収を行いました。
- ・ イオンの国内外での植樹活動は、1991年にマレーシアのショッピングセンターから始まった「イオン ふるさとの森づくり」と「(財)イオン環境財団」による植樹活動と合わせ、2008年3月10日現在累計約800万本となります。
- ・ イオンでは毎月11日を「イオン・デー」として、お客さまとともに地域社会の一員として社会貢献活動を推進しております。その活動のひとつとして、全国の店舗・事業所周辺の道路や公園等を清掃するクリーン活動を実施しています。



イオンの“エコストア”の一例
イオン鹿児島ショッピングセンター
(2007年10月オープン)